

令和8年度 施策事前評価シート

施策責任者 所属	健康増進課		電話番号	直通	989-5575
基本目標	いきいきとした暮らしを支える 優しいながいずみ				
政策	健康で幸福を実感できるまちの実現		施策分野	健康づくり	
施策分野 の総事業費	前年度 決算額	541,380	千円	今年度 予算額	543,166 千円

施策の進捗状況

	成果指標名称	年度	現状値 (R6)	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和12年	単位	進捗 評価
1	10分以上連続した健康づくりに週1日以上取り組んでいる市民の割合	目標値		80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	%	B
		実績値	71.7	82.0						
2	乳幼児健康診査平均受診率	目標値		—	92.8	92.8	92.9	93.0	%	B
		実績値	90.5	92.4						
3		目標値								
		実績値								
4		目標値								
		実績値								
					総合評価			B：順調		

事前分析

施策分野における これまでの 取り組みの概要	地域健康づくり推進（地域元気づくり事業、食育推進事業、まちなか健康交流事業）、健康づくりセンター・健康公園の運営及び管理、健康対策（ピロリ菌検査の実施、禁煙外来治療費の助成）、母子保健事業（母子健康教育事業、母子健康相談事業、母子訪問指導事業、母子歯科保健事業の実施）、母子健康診査事業の実施、妊婦のための支援給付事業の実施、母子予防接種（五種混合・小児肺炎球菌・B型肝炎・ロタ・BCG・日本脳炎・麻しん・風しん等予防接種の実施）、成人健康相談、栄養相談、こころの相談
施策分野における 背景・環境 及び抱えている課題	・乳幼児健康診査について、通知により予備日も含めた受診勧奨をしても受診をしない対象者がいる。 ・学齢期において年齢の上昇に伴う歯罹患率も上昇していることから、継続した歯予防対策が必要。 ・20～64歳といった働く世代からの健康づくりが必要だが、忙しさを理由に健康づくり意識が低いことが懸念される。時と場所にとらわれない健康施策が必要。
施策分野における 改革・改善内容 及び今後の見通し	・健診時期を保護者に認識してもらうため、各種教室や予防接種等で健診について周知する。乳幼児健診の未受診者に対し、地区担当保健師が電話・訪問等による受診勧奨や安否確認を行い、必要に応じて発育状況や医療・福祉利用状況を確認していく。 ・令和8年度から小学生への歯予防対策として小学1・3・5年生の開始する。 ・パークゴルフ場や健康公園、各種体育施設の適切な維持管理を実施するとともに、市民が各施設を利用するきっかけとなる魅力ある健康づくり施策の展開が必要。 ・行政が費用負担をする歩数アプリ事業は令和7年度に終了したが、健康づくりに重要な身体活動量の増加を促し、引き続き市民の健康づくりを支援するために、「歩く」ことの大切さを継続して周知していく。 ・様々な世代で誰もが自分にあった健康づくりに習慣的に取り組めるよう、自由参加型イベント「ながいずみカラダフェスタ事業」は継続する。